

校長室通信 5/28 19号

弁当の日

今日は運動会予備日のため、弁当の日でした。子供たちにとって弁当の時間は、まるで開ける宝箱のようです。お家の人に作ってもらった弁当の蓋を開ける瞬間は、今日のおかずは何だろう？とワクワクしています。彩り豊かで可愛らしい弁当は、見た目も楽しく、食べる前から笑顔になりますよね。給食も有り難いですが、弁当の日の子供たちの笑顔は最高です。

まず、弁当には、作ってくれた人の愛情と温かさがたっぷり詰まっています。「美味しいものを食べさせてあげたい」「喜んでほしい」という気持ちが、一つ一つのおかずに入められています。学校で食べる弁当は、まるで家にいるかのようにホッと安心できる、家庭の温かさを感じられる時間になります。

次に、弁当は、子供たちが好き嫌いをなくす良いきっかけにもなります。苦手な野菜も、弁当だと「食べてみようかな」という気持ちになることも。時には、キャラクターの形になったご飯や、可愛いピックが刺さったおかずなど、楽しい工夫が凝らされていることもあり、それが食への興味を深めます。

さらに、弁当を作ってもらうことで、子供たちは食事への感謝の気持ちを育むことができます。弁当をきれいに食べることで、「美味しかったよ」「ありがとう」という気持ちを伝えることができます。

弁当は、子供たちの心と体の成長を支える大切な存在です。



